

総合コメント

○下記の該当部分にも記入したが、前年度までの評価が A 評価（標準）であるのに、26 年度交付金の投入額が前年度に較べてかなり増額している分野がある。どのような基準で予算配分を行っているのか、説明が必要である。

○8-3 法令遵守など内部統制の充実・強化については、現時点での「預け金」や「一括払い」のそれぞれの件数と金額を示していただきたい。この部分、C 評定（一層の工夫、改善等が期待される）ではなく、D 評定（抜本的な見直しを含め、特段の工夫、改善を求める）が妥当ではないのか。

○FOEAS や Z-BFM、農産物の機能性の解明など営農現場の革新につながる研究成果は高く評価しており、今後とも、研究論文よりも研究成果の迅速な普及による社会還元を重点をおき、地域農業研究センターを通じて普及指導員や営農指導員等との一層の連携強化を期待する。

○過年度の研究費の不正使用の発覚や植物防疫違反などに加え、26 年度さらに不適正な経理処理事案の発覚など、法令違反事案が発生したことは極めて残念であるが、早期の全容解明と原因分析、及び内部統制強化策を早期に実行されたい。

○実用型研究が重視され、現場で実証され、普及していく成果が多くなっていることは望ましいと思われます。

○いずれの課題に対しても、中期目標・計画にそって着実に研究を進捗させている。更に、当初計画に含まれない東日本大震災の津波と原発事故に迅速に対応し、社会への貢献度が大きいと判断される。

○中期目標・計画は概ね達成されていると思われる。研究、開発に関しては成果を上げている。

○担当項目のうち、2-3 についての事務局評価の評定理由が他と比べて A 評価の説明としては不足していると思います。他の評価に関しては、自己評価、事務局評価案とも妥当な評価がなされていると思います。

業務運営部分

中期計画	意見
第 1 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	
1-1 経費の削減	< 法人業務実績及び自己評価に対する意見 > ○適正な経理処理がなされることを期待する。 < 法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項 > < 事務局評価案に対する意見 > ○評定は妥当である。 < 事務局評価案に対する確認が必要な事項 >
1-2 評価・点検の実施と反映	< 法人業務実績及び自己評価に対する意見 > < 法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項 > < 事務局評価案に対する意見 > < 事務局評価案に対する確認が必要な事項 >
1-3 研究資源の効率的利用及び充実・高度化	< 法人業務実績及び自己評価に対する意見 > ○女性研究者育成について努力が認められる。さらなる努力を期待する。 < 法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項 > < 事務局評価案に対する意見 > < 事務局評価案に対する確認が必要な事項 >
1-4 研究支援部門の効率化及び充実・高度化	< 法人業務実績及び自己評価に対する意見 > < 法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項 > < 事務局評価案に対する意見 > < 事務局評価案に対する確認が必要な事項 >
1-5 産学官連携、協力の促進・強化	< 法人業務実績及び自己評価に対する意見 >

	<p>○研究成果の実用化等、社会還元を期待する。 <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
1-6 海外機関及び国際機関等との連携の促進・強化	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
第2 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	
2-1 試験及び研究並びに調査（別表）	
2-2 近代的な農業経営に関する学理及び技術の教授	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
2-3 生物系特定産業に関する基礎的研究の推進	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><u>○評価案の評定理由からは、特に優れた取り組みとしてA評価とした根拠があまり読み取れません。他の今日か項目のトーンからはB評価に相当する説明のように思われます。</u></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
2-4 生物系特定産業に関する民間研究の支援	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○民間企業による売上げが低かったことから、今回の評定は妥当である。民間企業の事業化による売上げの増加を期待している。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p>○評定Cは妥当と考える。</p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
2-5 農業機械化の促進に関する業務の推進	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○機械の開発については、中期目標・計画を踏まえ、順調な進捗状況を確認できた。業務運営についても指標にもとづく実施が確認できた。現場への着実な普及を期待する。</p> <p>○先進的農業者との意見交換などを通じ、各種の農業機械の開発に成果を上げている。また、農業機械作業の安全性に関わる情報提供や講習会・研修会を開催して社会貢献をしている。自己評価「A」は妥当と考えられるが、多少、「甘め」の感がある。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p>○評価に対しては異論ない。</p>

	<p>○<u>中期目標・計画に着実に取り組み、計画を上回る実用化・市販化を進めていることを評価しての「A」評価案と思われる。ただし、多少、「甘め」で、評価項目としては「B+」か「A-」と言った評価が適当ではないかと思われる。</u></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p> <p>○「超音波を利用した農作物の病虫害防除技術が2014年農林水産研究成果10大トピックスに選定されるなど」とあるが、実績報告書のどの部分に記載してあるのかを教えてください。</p>
2-6 行政部局との連携	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○農研機構・地域農業研究センターを核に、県・県農試・普及指導員と連携した技術開発や現場指導に期待する。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p>○行政部局との緊密な連携がとられているとの判断から、「B」評価案が示されているが、適当な評価と考える。</p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p> <p>○「行政部局」とは、農水省・県庁・県農試・普及指導員等どこまでを指しているのか、示しておく必要はないか。</p>
2-7 研究成果の公表、普及の促進	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○輸出向けイチゴ輸送形態の実証、機能性給茶器の現場普及や、特許許諾数、プレスリリース数などの目標を上回る実績は高く評価でき、今後とも研究成果の迅速な現場への普及を期待する。</p> <p>○指標2-7-アの「多様な媒体を活用した情報発信」にむけた努力が認められる。とりわけ、北海道農業研究センターが毎年開催するセンターを一般公開し、消費者とコミュニケーションを図るイベントは国民的理解促進に効果的と思われる。</p> <p>○サイエンスカフェ開催等をおこない、研究成果の普及に努めているが、一般市民への普及になおいっそう努めていただきたい。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p>○<u>評定Bということだが、年間の査読論文数や特許出願数の目標達成度をもって評価するのではなく、機能性給茶器の現場普及や知的財産研修、特許許諾数・プレスリリースなどの目標を上回る実績等は高く評価すべきである。研究成果の迅速な現場普及への貢献の観点から評定はAが妥当である。</u></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
2-8 専門研究分野を活かしたその他の社会貢献	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
第3 予算（人件費の見積もりを含む。）、収支計画及び資金計画	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p>○会計検査院からの不適正な経理処理に係る指摘（平成25年度決算検査報告）について、平成26年度末に指摘金額の一部を国庫に返還しているが、27年度以降の返還の計画はあるか。また返還の原資は何か。</p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p> <p>○上記指摘について、再発防止策を策定し、評価案に着実に実施していると記載されているが、機構における実施状況を事務局はどのように確かめたか。</p>

<p>第4 短期借入金の限度額</p>	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p>○過年度における短期借入れの実績（年度、金額）</p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
<p>第5 不要財産又は不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画</p>	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p>○小規模拠点見直し対象である土地の譲渡にあたり、平成26年9月に主務大臣の認可を得てから、入札広告を行った平成27年2月までに5ヶ月を要した理由、及び売却に向けた今後の予定</p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
<p>第6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画</p>	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
<p>第7 剰余金の使途</p>	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
<p>第8 その他主務省令で定める業務運営に関する事項等</p>	
<p>8-1 施設及び設備に関する計画</p>	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○女性研究者支援、育成について、努力は認められる。支援が継続しておこなわれることを期待する。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
<p>8-2 人事に関する計画</p>	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
<p>8-3 法令遵守など内部統制の充実・強化</p>	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p>

	<p>○過年度の研究費の不正使用の発覚や植物防疫違反などに加え、26年度さらに不適正な経理処理事案の発覚など、法令違反事案が発生したことは極めて残念であるが、早期の全容解明と原因分析、及び内部統制強化策を早期に実行されたい。</p> <p>○植物防疫法に基づく輸入時の検査を受けずに種子を輸入した事案の再発防止については、農水省所管の法人として徹底していただきたい。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
8-4 環境対策・安全管理の推進	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
8-5 積立金の処分に関する事項	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>

研究部分

中期計画		意見
第2-1 試験及び研究並びに調査		
1. 食料安定供給のための研究開発		
(1) 地域の条件・資源を活かした高生産性水田・畑輪作システムの確立		
	① 新世代水田輪作の基盤的技術と低コスト生産システムの構築	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○生産コストの5割減や、イネ収量の5割増など、すでに中期目標を達成して進展している点を評価して、B評定ではなく、事務局評価の通り、A評定が妥当である。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
	② 土地利用型耕種農業を支える先導的品種育成と基盤的技術の開発	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○100%米粉パンの製造法開発等、加工利用技術の開発が順調に進められたものとする。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>

	<p>③ 業務需要に対応できる高度畑・野菜輪作農業システムの確立と先導的品種の育成</p>	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p>○中期計画で何割減と目標値を設定しているが、26年度で目標値のどの程度まで達成されたか、26年度で前年に比較してどの程度進展が見られたかを示すべきである。</p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
	<p>④ 農業技術の経営的評価と経営管理システムの確立</p>	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
	<p>(2) 自給飼料基盤の拡大・強化による飼料生産性向上と効率的利用技術の開発</p>	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○飼料用米品種の育成等の研究成果の普及を期待する。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p>○前年度までの評価がA評価(標準)であるのに、26年度交付金の投入額が前年度に較べて1.5倍に増額しているのはなぜか？ また、増額したにもかかわらず、評価がB(標準)であるのはなぜか？</p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
	<p>(3) 家畜の代謝特性に基づく飼養管理及び家畜の安定供給のための育種・繁殖技術の開発</p>	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p>○「開発等が開発されており」と言葉が重複しているので、「開発等が行われており」等に修正する。</p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
	<p>(4) 園芸作物の高収益安定生産システムの開発</p>	
	<p>① 日本型の高収益施設園芸生産システムの構築</p>	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
	<p>② 果樹・茶の持続的高品質安定生産技術の開発</p>	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○高齢化社会に対応した技術が開発され、実用化されることを期待する。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>

		(5) 地域特性に応じた環境保全型農業生産システムの確立	
		① 土壌生産力の総合的管理による持続的生産技術の開発	<p>< 法人業務実績及び自己評価に対する意見 ></p> <p>< 法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項 ></p> <p>< 事務局評価案に対する意見 ></p> <p>< 事務局評価案に対する確認が必要な事項 ></p>
		② 生物機能等の農薬代替技術を組み込んだ環境保全型病害虫・雑草防除技術の開発と体系化	<p>< 法人業務実績及び自己評価に対する意見 ></p> <p>< 法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項 ></p> <p>< 事務局評価案に対する意見 ></p> <p>○「窒素の約4割削減と一酸化二窒素の約8割低減する技術」→「窒素を約4割削減する技術と一酸化二窒素を約8割低減する技術」または「窒素の約4割、一酸化二窒素の約8割を低減する技術」</p> <p>< 事務局評価案に対する確認が必要な事項 ></p>
		③ 環境保全型農業および有機農業の生産システムの確立	<p>< 法人業務実績及び自己評価に対する意見 ></p> <p>< 法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項 ></p> <p>< 事務局評価案に対する意見 ></p> <p>< 事務局評価案に対する確認が必要な事項 ></p>
		(6) IT やロボット技術等の革新的技術の導入による高度生産・流通管理システムの開発	<p>< 法人業務実績及び自己評価に対する意見 ></p> <p>< 法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項 ></p> <p>○前年度までの評価が A 評価（標準）であるのに、26 年度交付金の投入額が前年度に比べて 3 倍に増額しているのはなぜか？ また、増額したにもかかわらず、評価が B（標準）であるのはなぜか？</p> <p>< 事務局評価案に対する意見 ></p> <p>< 事務局評価案に対する確認が必要な事項 ></p> <p>○「共同研究機関の方針と職員の人事異動により計画の微修正が必要な課題もあったが、克服できる見込みと思われる。」内部事情のような感じなので記載する必要がありますか。</p>
		(7) 家畜重要疾病、人獣共通感染症等の防除のための技術の開発	<p>< 法人業務実績及び自己評価に対する意見 ></p> <p>< 法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項 ></p> <p>< 事務局評価案に対する意見 ></p> <p>< 事務局評価案に対する確認が必要な事項 ></p>
		(8) 食品の安全性向上及び消費者の信頼確保のための技術の開発	<p>< 法人業務実績及び自己評価に対する意見 ></p> <p>○消費者にわかりやすい表示法の確立を期待する。</p> <p>< 法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項 ></p> <p>< 事務局評価案に対する意見 ></p>

		<事務局評価案に対する確認が必要な事項>
2. 地球規模の課題に対応した研究開発		
	(1) 地球温暖化に対応した農業技術の開発	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○地球温暖化に対応した予測モデルの開発、シミュレーションシステムの構築、技術の実用化など、中期計画を大幅に上回って業務が進捗していると判断できる。また、原著論文、特許出願、プレスリリースなど、成果の公表や社会還元にも積極的に取り組んでいる。よって、「A」なる自己評価は適当と考える。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p>○I P P Cについては日本語表記または併記した方がよいのでは？</p> <p>○中期目標・計画を着実に達成し、研究成果の普及活動を高く評価しての「A」評価案であり、この評価案「A」は適当と考える。</p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
	(2) 国産バイオ燃料・マテリアル生産技術の開発とバイオマスの地域利用システムの構築	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○エタノール生産コスト 100 円/L に向け、今年度の目標はほぼ達成したとのことであるが、この数値目標達成までには、まだ解決すべき問題があり一層の研究の進捗を期待したい。自己評価の「B」は適当と考える</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p>○中期目標・計画どおりに研究が進捗していると判断しての「B」評価案である。今後の課題に述べられている様に、開発までの道筋を示して頂きたいとのコメントは正当と考える。評価案の「B」は多少、「甘め」の感はあるが、適当と考える。</p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
3. 新需要創出のための研究開発		
	(1) 農産物・食品の機能性解明及び機能性に関する信頼性の高い情報の整備・活用のための研究開発	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○機能性食品表示制度がスタートし、これまでの機能性成分分析等の研究成果・蓄積が実用化に向かうこととなった点は高く評価され、さらに多くの国産農産物で機能性・嗜好性を解明いただくことで、より農業者の付加価値向上・需要拡大に貢献されるよう大いに期待する。</p> <p>○さらなるデータベースの充実を期待する。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p>○進捗状況で、「一部の課題においてやや遅れがあるもの」とあるが、実際にはどの点が遅れているのか。また、遅れている理由を分析しているか？</p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><u>○評価 Bということだが、機能性成分分析に関してこれまでの取組みを蓄積され、農産物 10 品目・機能性 10 種類以上がデータベースとして公表される見込みであり、こうした成果創出と現場への貢献から評価は A が妥当と考える。</u></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
	(2) ブランド化に向けた高品質な農産物・食品の開発	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
	(3) 農産物・食品の高度な加工・流通プロセスの開発	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p>

		<p>○トマトの糖度推定制度の改善をはじめ、野菜・果樹・花の劣化機構の解明・品質保持技術開発の取組みや、増加している加工・業務用需要に対応した粉末食品製造法の開発等は高く評価され、より一層、迅速な実用化に向けた研究に期待する。</p> <p>○高度な加工技術の実用化が進められたことは十分評価できる。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
4. 地域資源活用のための研究開発		
	(1) 農村における施設・地域資源の維持管理技術の開発	
	① 農業水利施設等の戦略的な再生・保 全管理技術の開発	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○計画に沿って研究成果が順調に出されているとの判断に基づき、自己評価案「B」は、適当と考える。膨大な資産価値をもつ農業水利施設が改修と更新を迫られている。それを将来の営農形態や、海外での需要までを見込んだ広い視野から、戦略的な研究や技術開発が必要と考える。現在の研究課題は戦略的というより戦術的であると思う。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p>○中期目標・計画通りに着実に進捗しているとの判断からの「B」評価は適当と考える。</p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
	② 農村地域の国土保全機能の向上と防 災・減災技術の開発	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○中期目標・計画を達成し、当初の中期目標になかった東日本大震災による津波被害の軽減に効果のある海岸堤防技術を完成させ、その技術が事業採択予定になったことは高く評価でき、自己評価の「A」は適当と考える。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p>○津波対策としての堤防技術の開発と事業採択予定や、総合的な減災技術の開発を高く評価して、「A」なる事務局評価案が示されているが、この評価案は適当と考える。</p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
	(2) 農業生産のための基盤的地域資源の 保全管理技術の開発	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○耕作放棄地や鳥獣被害の発生の増大という課題に対し、現地調査に基づく耕作放棄再生手法の開発、衛星データを用いた荒廃農地調査手法、有害獣の分布拡大シュミレーションの開発等は高く評価され、より現場のニーズに応える研究開発に期待する</p> <p>○各種の地域資源の保全管理技術が開発され、技術の普及が図られている。計画どおりに、着実に進捗していることから、「B」なる自己評価は適当と考えられる。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p>衛星データを用いた荒廃農地調査手法が、開発がすすめられている農地管理台帳へ応用されているものなのか確認したい。</p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><u>○評価Bということだが、衛星データを用いた荒廃農地調査手法が、現在農業委員会システムですすめられている農地管理台帳システムに応用されているのであれば、鳥獣被害対策と併せ高く評価し、評価Aとすべきと考える。</u></p> <p>○研究が計画どおりに進捗しているので、事務局評価案の「B」は適当と考える。今後の課題で期待されているスマートグリッド構想や鳥獣害対策などへの貢献が期待される。</p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
5. 原発事故対応のための研究開発		
		<法人業務実績及び自己評価に対する意見>

	<p>○表土削り取り除染技術が環境省の除染ガイドランに掲載され、農地除染事業の主工法に採用されるなど、除染に関わる様々な問題の解決に貢献してきた。また、大学や他の機関との連携研究や協力研究を進め、研究成果の社会還元を行っている。これにより、計画以上の実績を上げているので、「A」との自己評価は適当と考えられる。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p>○技術開発の生産現場における放射性セシウム低減への貢献や安全な農作業生産技術の社会実装を評価して事務局案は「A」評価を提案しているが、この評価は適当と判断できる。</p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
--	--

総合コメント

○研究面では、技術の普及、社会実装を計画以上に進めている課題が多く、また、現場のニーズだけでなく、行政部局からの要請に迅速に対応した取り組みも積極的に進めている点で、高く評価できる。

○FOEAS や Z-BFM, 農産物の機能性の解明など営農現場の革新につながる研究成果は高く評価しており、今後とも、研究論文よりも研究成果の迅速な普及による社会還元に重点をおき、地域農業研究センターを通じて普及指導員やJA営農指導員等との一層の連携強化を期待する。とりわけ加工・業務用需要の増大に対応した青果等の生産の機械化・加工・製造手法や保存・輸送技術など、時代のニーズに対応した研究開発と迅速な普及に大いに期待する。

○この期間において、過年度からの度重なる不正使用の発覚や植物防疫違反、不適正な経理処理事案の発覚など、法令違反事案が発生したことは極めて残念であるが、早期の全容解明と原因分析、及び内部統制強化策を早期に実行されたい。

○統合後の新法人においても、基礎～応用～実用型研究、あるいは短期～長期的な研究を通じ、産業界に貢献し、消費者にも実感できるような研究成果を今後も期待します。

○中期目標・計画を着実に達成しつつあり、更に、東日本大震災に伴う津波災害と原発事故に対する研究成果と社会貢献は高く評価できる。

○中期目標・計画は概ね達成されていると思われる。研究、開発に関しては成果を上げている。

○担当分の項目については自己評価、事務局評価案とも妥当な評価がなされていると思いますが、事務局評価案の記述に不統一な部分が見受けられます。点検し、表記の仕方を統一してください。

業務運営部分

中期計画	意見
第1 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	
1-1 経費の削減	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> ○不適正な経理処理が発生しないことを期待する。 <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
1-2 評価・点検の実施と反映	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
1-3 研究資源の効率的利用及び充実・高度化	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> ○女性研究者支援についての努力は認められる。 <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
1-4 研究支援部門の効率化及び充実・高度化	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
1-5 産学官連携、協力の促進・強化	<法人業務実績及び自己評価に対する意見>

	<p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
1-6 海外機関及び国際機関等との連携の促進・強化	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
第2 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	
2-1 試験及び研究並びに調査（別表）	
2-2 近代的な農業経営に関する学理及び技術の教授	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
2-3 生物系特定産業に関する基礎的研究の推進	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p>○この事業は基礎的研究だが、どのような発展性と継続性をもっているのか。</p> <p>○PD,POの審査員は公表されているか。</p> <p>○どのような重点分野をフォローしているのか。⑥採択件数、大学・公立試験場・民間企業の研究費配分額。</p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p>○評定を「B」とする・・・→「」を削除する。Bと「B」が異なる誤解を生む。他にもあるので整理し、統一した表現にする。</p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p> <p>○なぜ見込評価をBに下げているのか。</p>
2-4 生物系特定産業に関する民間研究の支援	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○民間実用化研究事業において受託者からの売り上げ納付が高まるように努めることを期待する。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p>○評定は妥当である。</p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
2-5 農業機械化の促進に関する業務の推進	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○指標2-5-ウに関する実績（「(前略) …またその結果が事業計画等の中止、見直しに反映させる」の部分）が十分には読み取れない。</p> <p>○農業機械、収穫・バック詰め作業ロボット、超音波を使った病害虫防御技術の開発など、着実に研究成果を上げ、中期目標・計画を上回るペースで業務が進捗している。また、農業機械作業の安全講習会や研究会を開催により社会貢献も大きい。よって、自己評価の「A」は適当と考えられる。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p>○上記に関連し、表2-5-1-1「緊プロ開発機の普及実績」によると、「乗用型トラクター</p>

	<p>の片ブレーキ防止装置」は普及率が高いが、「可変径式 TMR 成形密封装置」は 3 台、「イチゴ収穫ロボット」は 1 台とバラつきがある。研究成果の実用化・普及の見込みに関する把握・分析がどのようにおこなわれているのか、また事業計画の見直しなどにどのように反映されているのか、確認したい。</p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p>○中期目標。計画を着実に実行し、計画以上の成果を上げていること等を評価しての「A」評価案と思われる。この評価案の「A」は適当と考える。</p> <p>○A 評価の理由説明には、特記事項がアンダーラインで協調されているが、この項目の表記では使われていない。対応する必要はないでしょうか？</p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
2-6 行政部局との連携	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○農研機構・地域農業研究センターを核に、県・県農試・普及指導員と連携した技術開発や現場指導に期待する。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p>○中期目標・計画の達成に向け着実な取り組みが見られるとして、「B」評価案が示されている。これまでの取り組みから見て、この評価案「B」は適当と考える。</p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p> <p>○「行政部局」とは、農水省・県庁・県農試・普及指導員等どこまでを指しているのか、示しておく必要はないか。</p>
2-7 研究成果の公表、普及の促進	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○現場実証研究を強化し、成果利活用の促進に重点を置いた姿勢や、特許許諾数・プレスリリース数などの目標を上回るほどの実績は高く評価でき、今後とも研究成果の迅速な現場への普及を期待する。</p> <p>○研究情報等は一般人にもわかりやすいものであるように努めることを望む。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p>○論文の達成率が 86%で、その理由としてマニュアルや普及誌の公表がより重視されているためであるとしていますが、実際にはどの程度マニュアルや普及誌に公表し、また前年度に比べて増えていますか？</p> <p>○指標 2-7-アに関する実績（国民や関係機関に分かりやすい研究情報の発信…後略）として、257 ページ 2-7-1 にて「平易な文章、写真・図などを効果的に活用」「画像の積極的掲載」「実物展示、試食など」を通じてわかりやすい情報発信に努めたとあるが、国民から客観的な評価を得るための取り組み（アンケートなど）をしているのかどうかを確認したい。主観的な評価になっていないだろうか。</p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><u>○評定 B ということだが、年間の査読論文数や特許出願数の目標達成度をもって評価するのではなく、現場研修等による普及や、特許許諾数・プレスリリースなどの目標を上回る実績等は高く評価すべきである。研究成果の迅速な現場普及への貢献の観点から評定は A が妥当である。</u></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
2-8 専門研究分野を活かしたその他の社会貢献	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
第3 予算（人件費の見積もりを含む。）、収支計画及び資金計画	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p>○会計検査院からの不適正な経理処理に係る指摘（平成 25 年度決算検査報告）について、平成 26 年度末に指摘金額の一部を国庫に返還しているが、27 年度以降の返還の</p>

	<p>計画はあるか。また返還の原資は何か。</p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p> <p>○上記指摘について、再発防止策を策定し、評価案に着実に実施していると記載されているが、機構における実施状況を事務局はどのように確かめたか。</p>
第4 短期借入金の限度額	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p>○過年度における短期借入れの実績（年度、金額）</p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
第5 不要財産又は不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p>○小規模拠点見直し対象である土地の譲渡にあたり、平成26年9月に主務大臣の認可を得てから、入札広告を行った平成27年2月までに5ヶ月を要した理由、及び売却に向けた今後の予定</p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
第6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
第7 剰余金の使途	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
第8 その他主務省令で定める業務運営に関する事項等	
8-1 施設及び設備に関する計画	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
8-2 人事に関する計画	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○研究員の平均年齢が年々高まっている実態にあるが、若手研究者の育成と採用・登用に一層尽力され、わが国農業振興を技術面から牽引する存在として、将来を見据えた研究体制の構築を期待する。</p> <p>○女性研究者の採用、支援に対する努力は認められる。</p>

	<p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
8-3 法令遵守など内部統制の充実・強化	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○過年度の研究費の不正使用の発覚や植物防疫違反などに加え、26年度さらに不適正な経理処理事案の発覚など、法令違反事案が発生したことは極めて残念であるが、早期の全容解明と原因分析、及び内部統制強化策を早期に実行されたい。</p> <p>○植物防疫法に基づく輸入時の検査を受けずに種子を輸入した事案の再発防止については、農水省所管の法人として徹底していただきたい。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
8-4 環境対策・安全管理の推進	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
8-5 積立金の処分に関する事項	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>

研究部分

中期計画		意見
第2-1	試験及び研究並びに調査	
	1. 食料安定供給のための研究開発	
	(1) 地域の条件・資源を活かした高生産性水田・畑輪作システムの確立	
	① 新世代水田輪作の基盤的技術と低コスト生産システムの構築	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p>○鉄コーティングの開発・普及はこの研究プロジェクトによる成果だと理解していいか。</p> <p>○担い手となる経営体のビジネスモデルを描けるか（所得・規模）</p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
	② 土地利用型耕種農業を支える先導的品種育成と基盤的技術の開発	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○育成品種の普及を期待する。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p>

			<p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
		③ 業務需要に対応できる高度畑・野菜輪作農業システムの確立と先導的品種の育成	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
		④ 農業技術の経営的評価と経営管理システムの確立	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
		(2) 自給飼料基盤の拡大・強化による飼料生産性向上と効率的利用技術の開発	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
		(3) 家畜の代謝特性に基づく飼養管理及び家畜の安定供給のための育種・繁殖技術の開発	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
		(4) 園芸作物の高収益安定生産システムの開発	
		① 日本型の高収益施設園芸生産システムの構築	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○課題の中には施設園芸に関係する技術が取り上げられているが、基礎的な技術、緊急性を要する技術、普及させる技術の整理が必要である。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
		② 果樹・茶の持続的高品質安定生産技術の開発	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○実用的成果が多数創出されたことなどからも、高く評価できる。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p>○「消費者ニーズに対応した普及性の高い・・・を高く評価し」が抽象化しすぎて意味</p>

			<p><u>がわからないまま、Aの評価になっている。</u></p> <p>○種苗管理センターと連携して知的財団管理や育成者の保護を図るとしたほうがわかりやすい。</p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
		(5) 地域特性に応じた環境保全型農業生産システムの確立	
		① 土壌生産力の総合的管理による持続的生産技術の開発	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
		② 生物機能等の農薬代替技術を組み込んだ環境保全型病害虫・雑草防除技術の開発と体系化	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
		③ 環境保全型農業および有機農業の生産システムの確立	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○関心もたれている課題の割には、特に有機農業について顕著な進展が期待されそうにない正直な表現である。環境研・生物研との総合的な研究をすべきではないか。</p> <p>○②1-(5)-2との棲み分けをどうするか、有機農業の研究を本格的にすべきではないか。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
		(6) ITやロボット技術等の革新的技術の導入による高度生産・流通管理システムの開発	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
		(7) 家畜重要疾病、人獣共通感染症等の防除のための技術の開発	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
		(8) 食品の安全性向上及び消費者の信頼確保のための技術の開発	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○ジャガイモの貯蔵法や家庭でのフライドポテト調理の実態解析の行政への寄与は評価できる。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p>

		<p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
2. 地球規模の課題に対応した研究開発		
	(1) 地球温暖化に対応した農業技術の開発	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○地球温暖化の多方面にわたる影響の緩和と適応技術の開発において、中期目標・計画を着実に達成し、加えて、他の機関との連携や国際的貢献などを通じて研究成果を社会に還元している。よって、「A」なる自己評価は適切と考えられる。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p>○中期目標・計画を達成していることに加えて、国際貢献、メッシュ農業気象データ配信システムの利用実績を評価しての「A」評価であるが、適当な評価と考える。</p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
	(2) 国産バイオ燃料・マテリアル生産技術の開発とバイオマスの地域利用システムの構築	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○未利用バイオマス資源の活用とバイオエタノール 100 円/L 以下での生産へ向けて、研究目標を達成していることから、「B」なる自己評価は適切と考える。</p> <p>○課題として、情勢変化バイオエタノールの需要がなくなるので、この研究で得られた知見の活用が必要と述べられている。しかし、情勢は絶えず変化するものであり、国立研究開発法人は、私企業とは異なり、長い目で見て研究を推進する必要があるのではないかと感じる。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p>○目標・計画の達成が見込まれることから、「B」評価案が示されていて、適当な評価案と考える。</p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
3. 新需要創出のための研究開発		
	(1) 農産物・食品の機能性解明及び機能性に関する信頼性の高い情報の整備・活用のための研究開発	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○これまでミカン・機能性成分分析等の研究成果・蓄積は高く評価されるものであり、まさに機構が機能性農産物開発の先頭を走って、現場を牽引いただいている。さらに多くの国産農産物で機能性・嗜好性を解明いただくことで、より農業者の付加価値向上・需要拡大に貢献されるよう大いに期待する。</p> <p>○機能性成分分析法の標準化を期待している。機能性成分βクリプトキサンチンの作用解明が期待される。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
	(2) ブランド化に向けた高品質な農産物・食品の開発	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○「農商工連携や産地ブランド化に向けた」という言葉がまくらことばのつており、多くの地域農試等で取り組み、種苗管理センター・経営研究者等が入ってブランド管理手法の構築に関係すべきである。</p> <p>○じゃがいもにこだわるのであれば、イノベーションを起こすためのコンソーシアムやプラットフォームづくりに入るべきである。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>

		○社会還元の意味が理解できない、また社会学者となどのような提携になるのか。
	(3) 農産物・食品の高度な加工・流通プロセスの開発	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○カキの剥離技術や高アミロース米による「米ゲル」、粉末食品製造法の開発など増加している加工・業務用需要に対応した加工技術開発等は高く評価され、より一層、迅速な実用化に向けた研究に期待する。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><u>○A評価で実用化し、インパクトが大きければ売上額と市場の拡大、企業との連携の手法、波及効果、さらに国際的なインパクトも必要であり、文章から内容を判断するとB評価であろう。</u></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p> <p>○社会還元の意味が理解できない、また社会学者となどのような提携になるのか。</p>
4. 地域資源活用のための研究開発		
	(1) 農村における施設・地域資源の維持管理技術の開発	
	① 農業水利施設等の戦略的な再生・保全管理技術の開発	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○計画にそって研究成果が創出され、技術の実用化・普及が進捗しているとの判断から、自己評価は「B」であり、適当な評価と考える。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p>○中期目標・計画の達成が見込まれることから、「B」なる事務局評価案が示されており、適当な評価と思う。今後の課題として、「戦略性の高い技術開発を期待する」と指摘されているように、単なる補修技術に留まることなく、一段高い技術を目指されることを期待する。</p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
	② 農村地域の国土保全機能の向上と防災・減災技術の開発	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○中期目標・計画の達成に加え、当初計画になかった東日本大震災に対応する減災技術の開発や福島県、東北大学との連携など、被災地域の復旧・復興への技術的な貢献は高く評価でき、自己評価「A」は適当と考える。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><u>○期間を通じての行政ニーズに対応した迅速で確実な減災技術の開発は特筆すべきであり、S評価が妥当ではないか。</u></p> <p><u>○東日本大震災、局所豪雨、地すべりへの機動的対応などの社会的貢献と、津波で壊れ難い三面一体化堤防の迅速な技術開発を高く評価し、事務局評価案を「A」としているが、この評価案は適当と考えられる。</u></p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>
	(2) 農業生産のための基盤的地域資源の保全管理技術の開発	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○耕作放棄地や鳥獣被害の発生の増大という課題に対し、現地調査に基づく耕作放棄再生手法の開発、放牧マニュアル作成や、くぐれんテグス君の開発等は高く評価され、より現場のニーズに応える研究開発に期待する。</p> <p>○統合水循環モデルの成果は用排水計画評価と用水計画に活用できるもので高く評価できる。また、開発された各種の保全管理技術は、講習会やプレスリリースなどによって普及されている。研究成果が順調に創出され、開発した技術の実用化・普及が進捗しているため、「B」評価は適当と考える。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p><u>○評価Bということだが、現地調査に基づく耕作放棄再生手法の開発、放牧マニュアル作成や、くぐれんテグス君の開発などの鳥獣被害対策に加えて、衛星データを用いた荒廃農地調査手法が、現在農業委員会系統ですすめられている農地管理台帳システムに</u></p>

		<p><u>応用されているのであれば、評定Aとすべきと考える。</u></p> <p>○各種の保全管理技術が開発され、計画が着実に達成される見込みから、「B」なる事務局評価案が示されているが、適当な評価と考える。</p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p> <p>○衛星データを用いた荒廃農地調査手法が、開発がすすめられている農地管理台帳へ応用されているものなのか確認したい。</p>
5.	原発事故対応のための研究開発	<p><法人業務実績及び自己評価に対する意見></p> <p>○農作物への放射性物質の吸収抑制技術の開発、除染技術の開発など最終年度を待つことなく終了させたこと、研究体制を早急に整備し、放射線関係の分析と研究に特化して対処できるようにしたこと、放射能汚染に関わる様々な問題の解決に貢献してきたこと、等、社会への貢献は非常に大きく、「S」評価は適当と考える。</p> <p><法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項></p> <p><事務局評価案に対する意見></p> <p>○水稲、茶、牧草などへの放射性物質の移行低減技術の開発や物理的除染技術の開発など、効果の高い安全な農作物生産技術の社会実装と行政施策推進への貢献を評価して、事務局案として「S」を提案しているが、期間中の貢献度を考えると、それに相応しい適当な評価と考える。</p> <p><事務局評価案に対する確認が必要な事項></p>